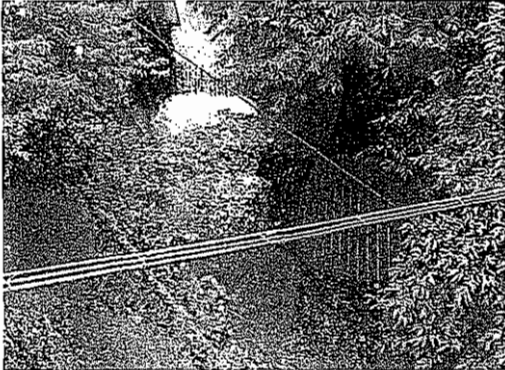
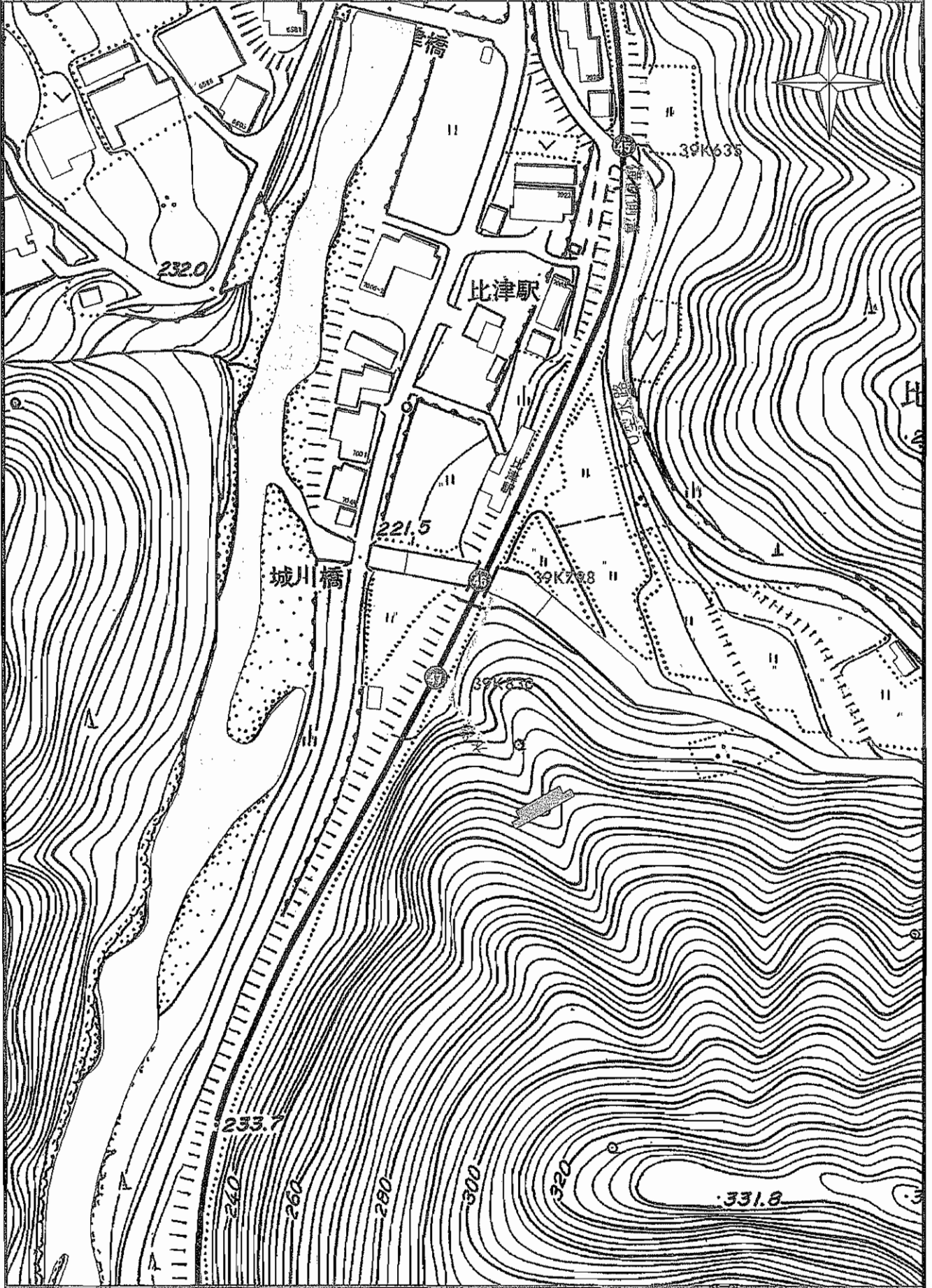


JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.46	39k798m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	踏切付近（No.45）において、道路側溝と線路横断水路の新設を行う必要がある。No.45の整備を行うことで対処可能と考えられる。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				大
写 真					
					
橋梁下流路工					



JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月15日

箇所番号 No.47	区間 39k830m付近	線路との位置 左			
被災要因	土砂流入（道路から） のり面崩壊		土砂流入（溪流から） 護岸洗掘		盛土流失 <u>その他（線路手前に流入）</u>
	土砂の性質 基盤岩	土砂 <u>花崗岩</u>	<u>マサ</u> 花崗岩	片麻状花崗岩	その他（ ）
既設対策工他	柵				
コメント	流出土砂は比較的細粒のものが多く、落石防護柵背面に堆砂している。 堆積土砂のしゅんせつと、水路の新設および、谷止工の新設が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	○		○		中

写 真



流入土砂



柵背面の堆砂



溪流は露岩



溪流右岸は緩斜面

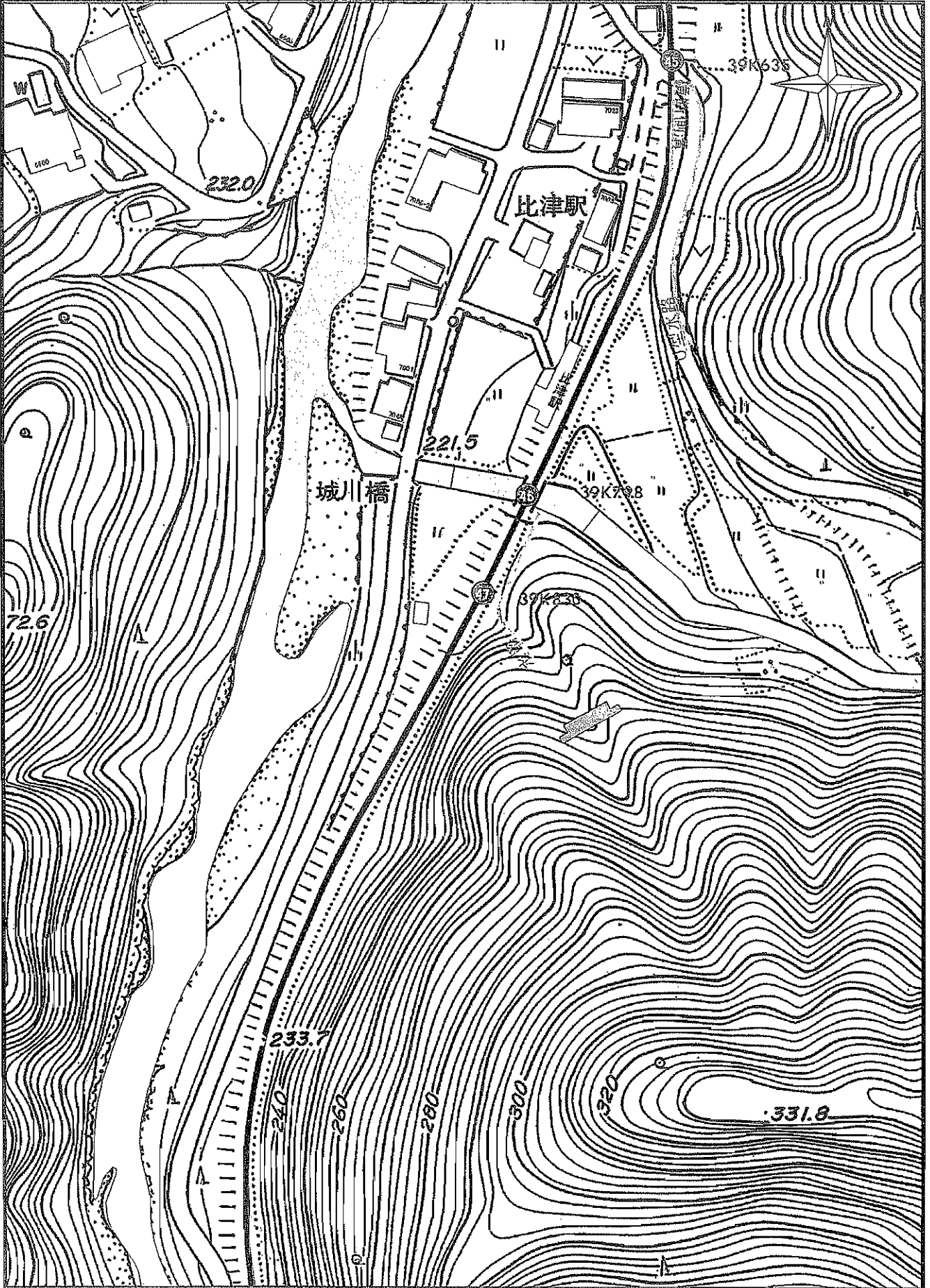
位置図

24677

24952

03

1



24677

1:1500

24952

89

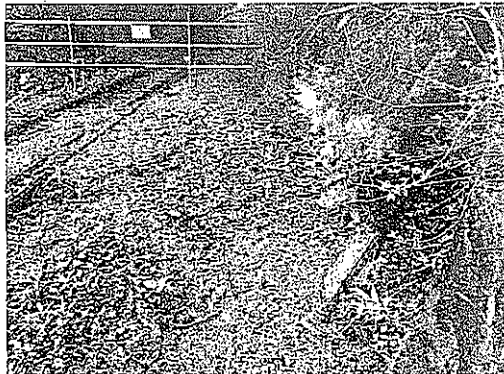
1

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.48	40k240m付近		右		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	柵				
コメント	涸れ沢から供給された流出土砂が水路からあふれ線路に堆砂している。 涸れ沢出口からの水路と線路沿い水路の復旧拡幅が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				中

写 真



土砂（マサ）の流入



涸れ沢

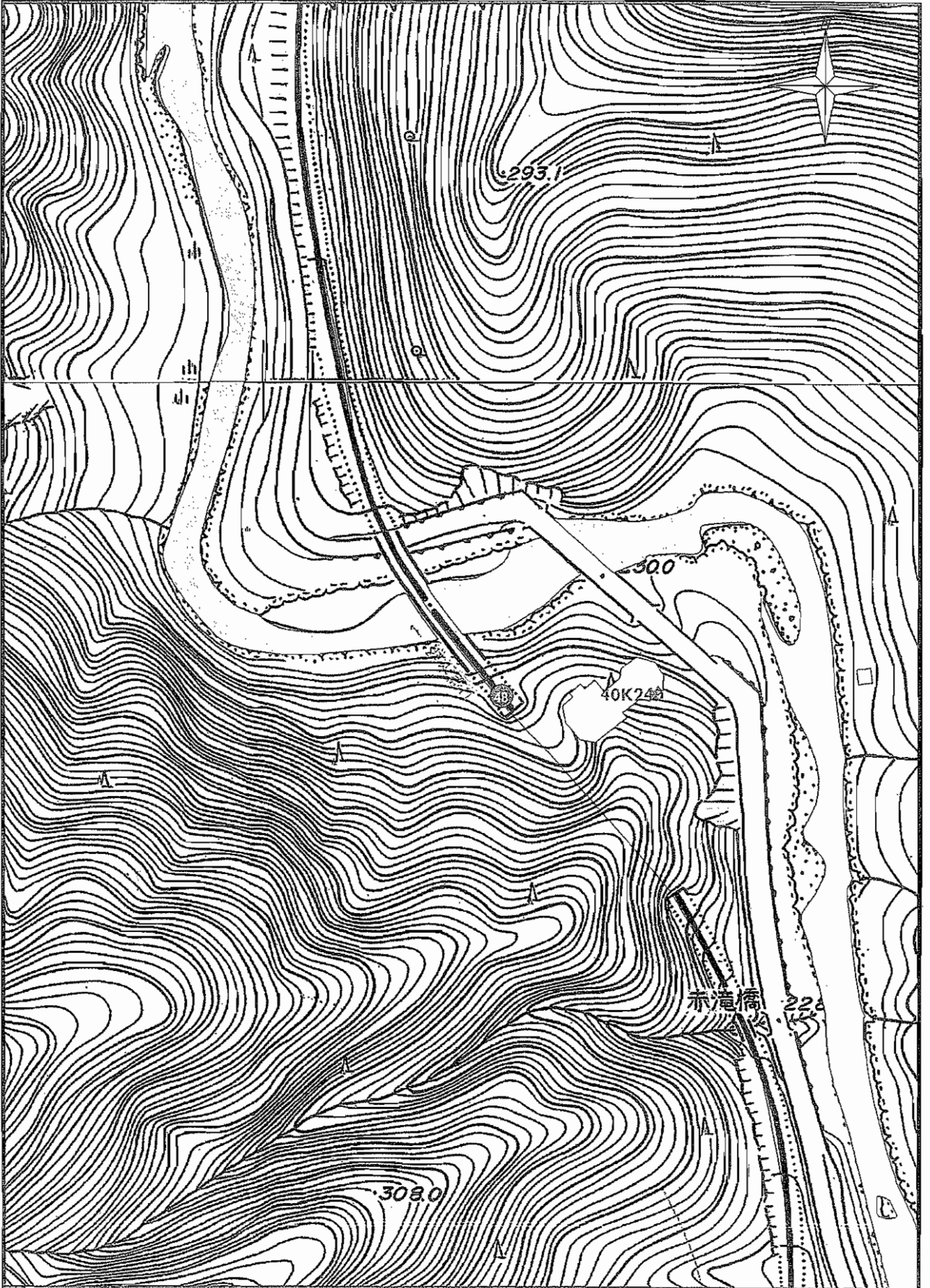
24661

位置圖

24935

140

1



24661

1:1500

24935

125

1

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年9月7日

箇所番号	区 間		線路との位置		
1	30k610m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（表流水流入）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩 水の流入
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	線路脇の凹地に造成地からの表流水が流入し、貯留された。 線路脇の水路を新設することが望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	○				小

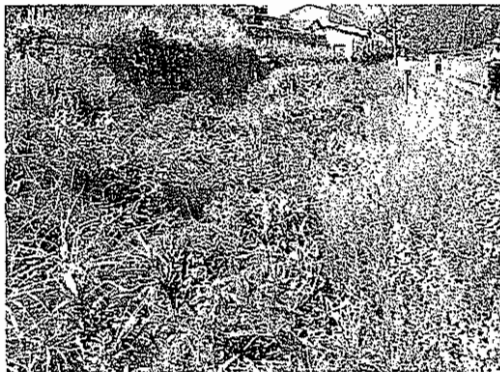
写 真



全 景



雨水流入箇所



流入水が貯留される凹地

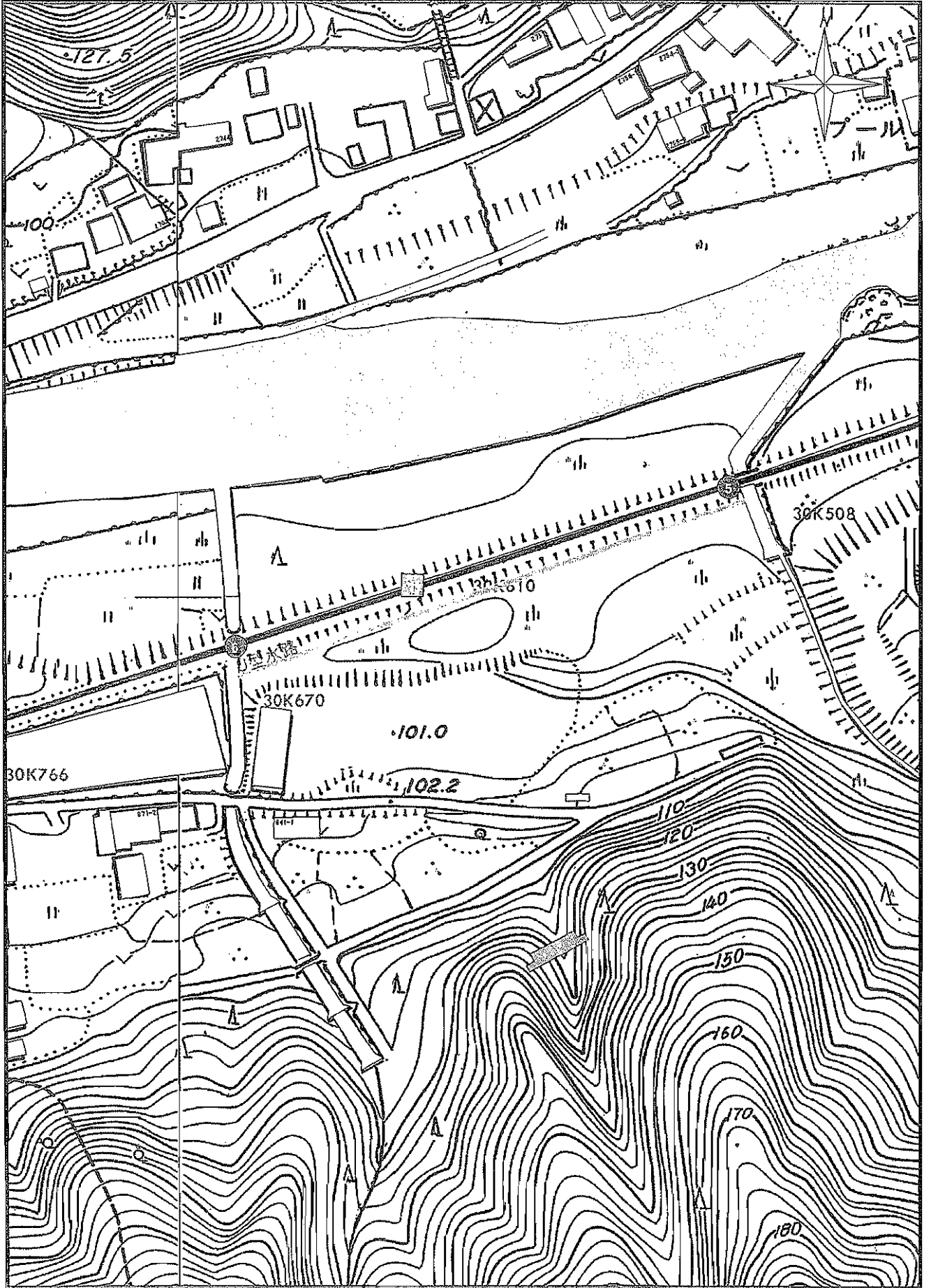
27687

位置図

27962

175

-1



161

-1

27687

1:1500

27962

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年9月7日

箇所番号	区 間		線路との位置		
2	32k787m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他					
コメント	溪流から少量の流木が流入し、コルゲートパイプ（φ1000）の呑み口に溜まっている。コルゲートパイプ呑み口直上流の石張り水路には変状・土砂の堆砂はない。溪流部水路の新設と流木の除去及び横断コルゲートパイプの清掃が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	○				小

写 真



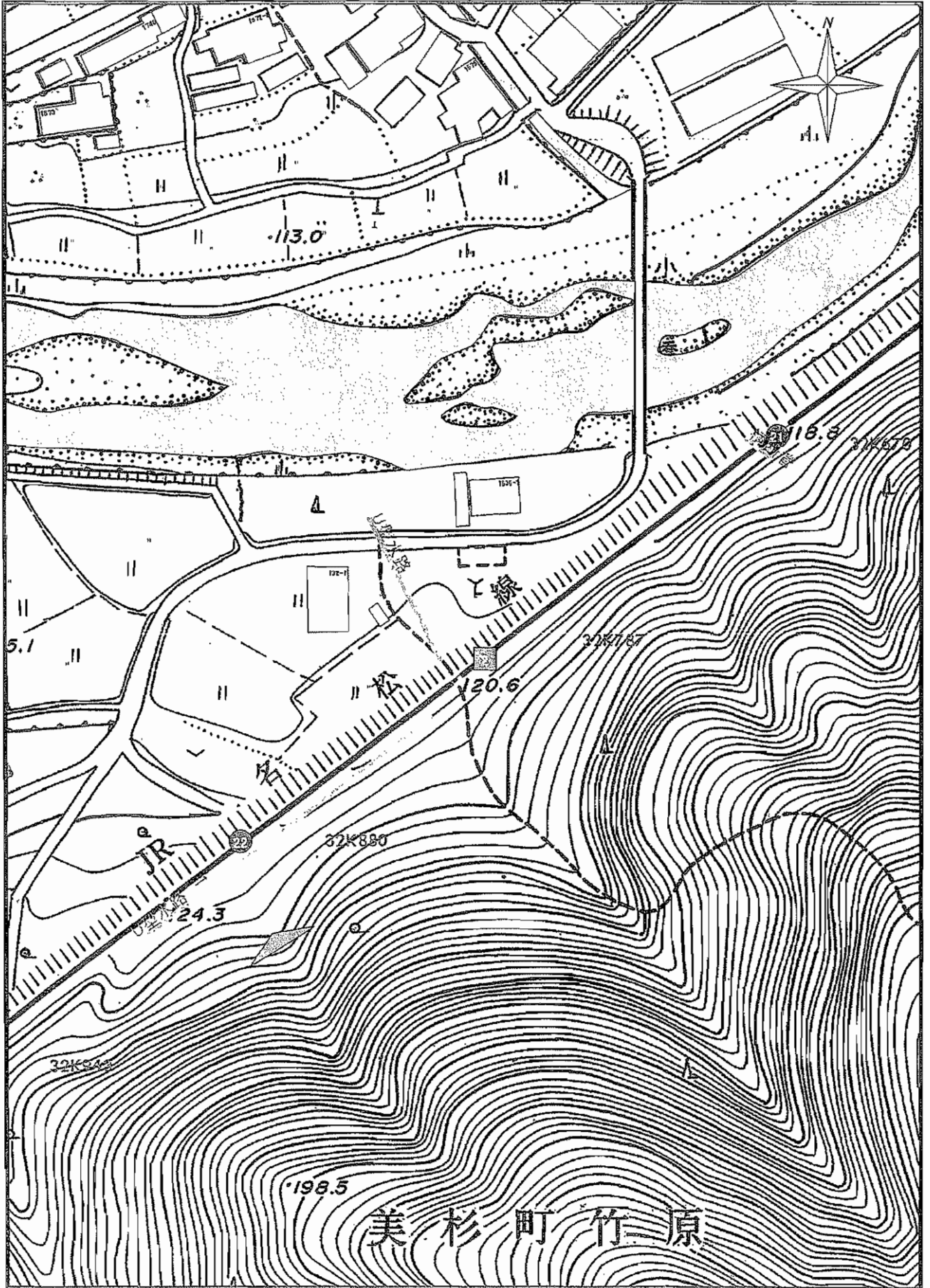
全 景



溪流の状況



コルゲートパイプ呑み口

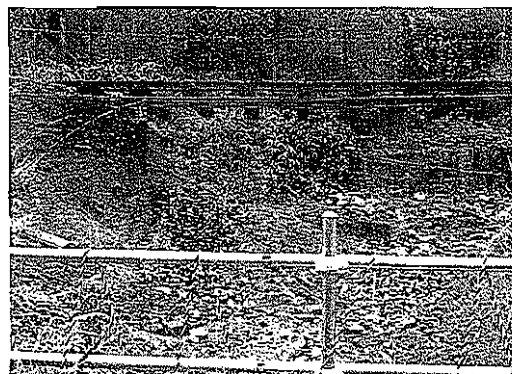


JR名松線被害箇所調査表

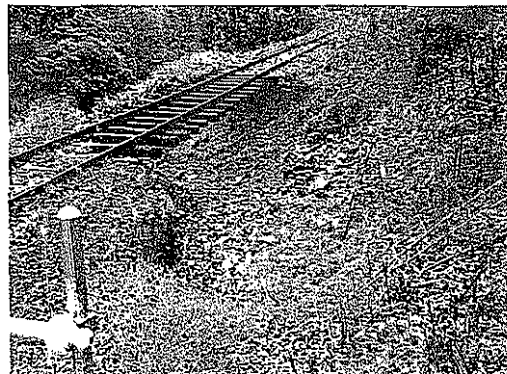
調査日2010年7月3日

箇所番号	区間		線路との位置		
3	34k300m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩	その他（線路道床）	
既設対策工他	道路側溝				
コメント	上方道路及び、直上の農地・家屋敷地からの表流水が線路に流入し、盛土が流失している。 上方道路及び、直上の農地・家屋敷地からの表流水を排出するための水路新設が必要である。 また、盛土を再施工する場合は盛土境に暗渠等の排水施設を設置する必要がある。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				大

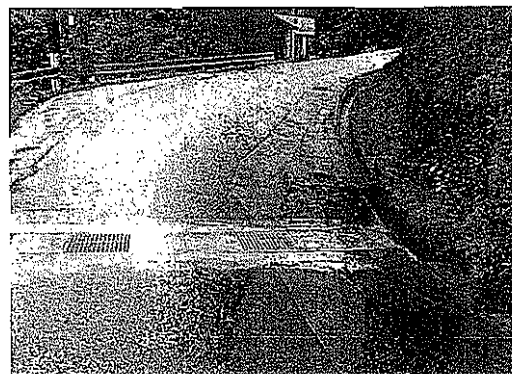
写 真



盛土の流失1



盛土の流失2



上方の道路・側溝

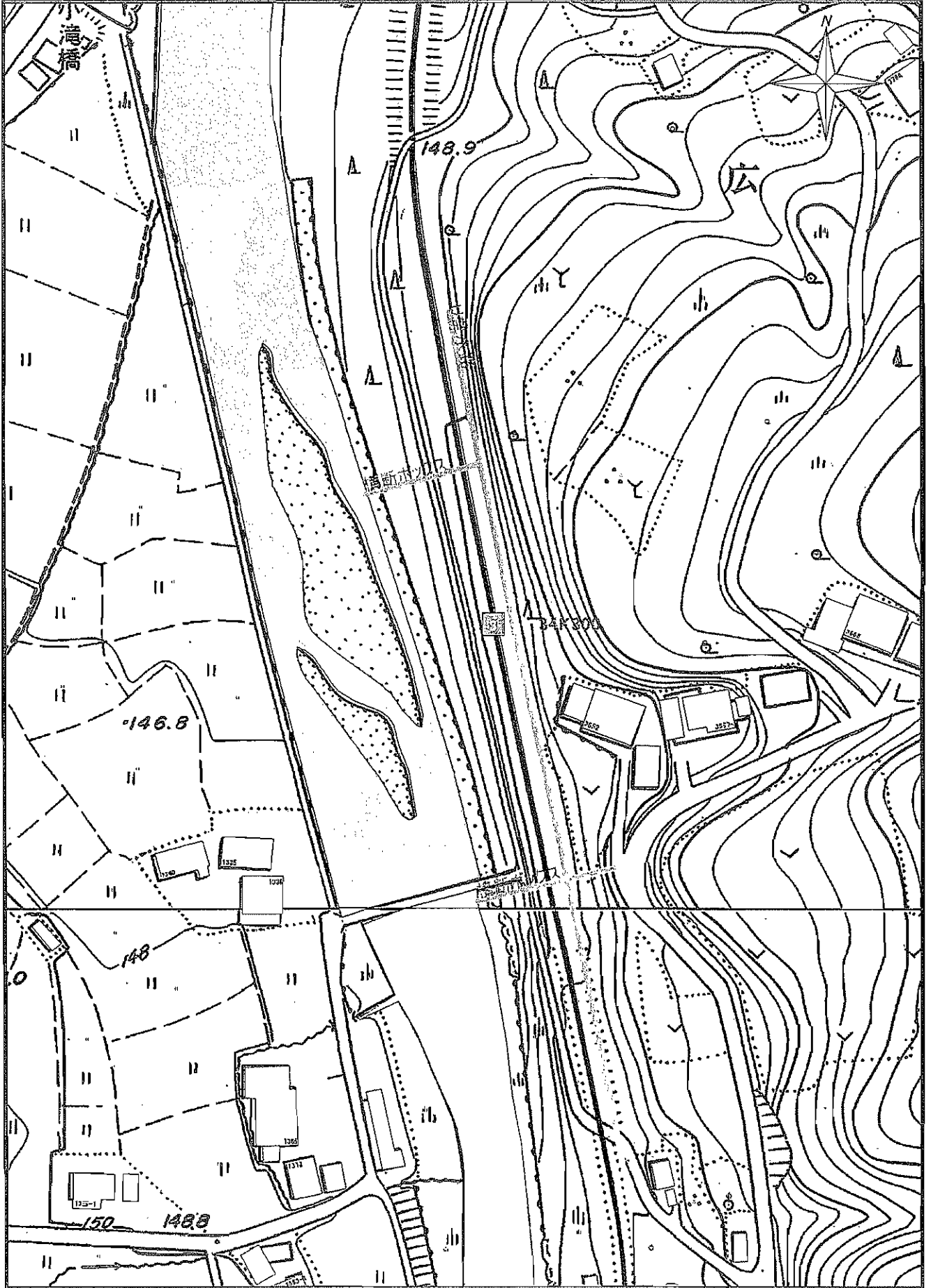
位置图

25281

25556

182

1



167

1

25281

1:1500

25556

JR名松線被害箇所調査表

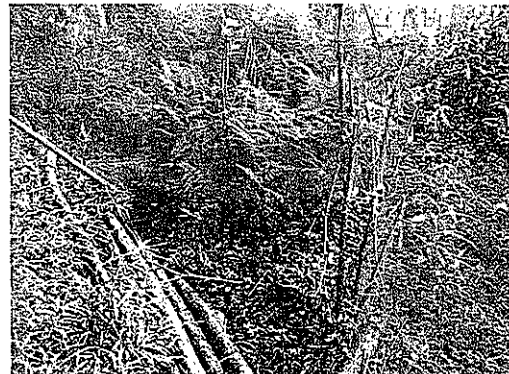
調査日2010年9月7日

箇所番号	区間	線路との位置			
4	34k650m付近	左			
被災要因	土砂流入（道路から） のり面崩壊		土砂流入（溪流から） 護岸洗掘		盛土流失 <u>その他（表流水流入）</u>
	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩 <u>水の流入</u>
対象土砂	基盤岩	花崗岩	<u>片麻状花崗岩</u>	その他（線路道床）	
既設対策工他					
コメント	終点側線路脇水路からの表流水が線路脇凹地に流入し、貯留された。「伏びφ300またはこれに至る排水こう」の存在が推定されているが、現地では確認できなかった。 既設線路脇水路と線路横断水路の拡幅が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				中

写 真



全 景

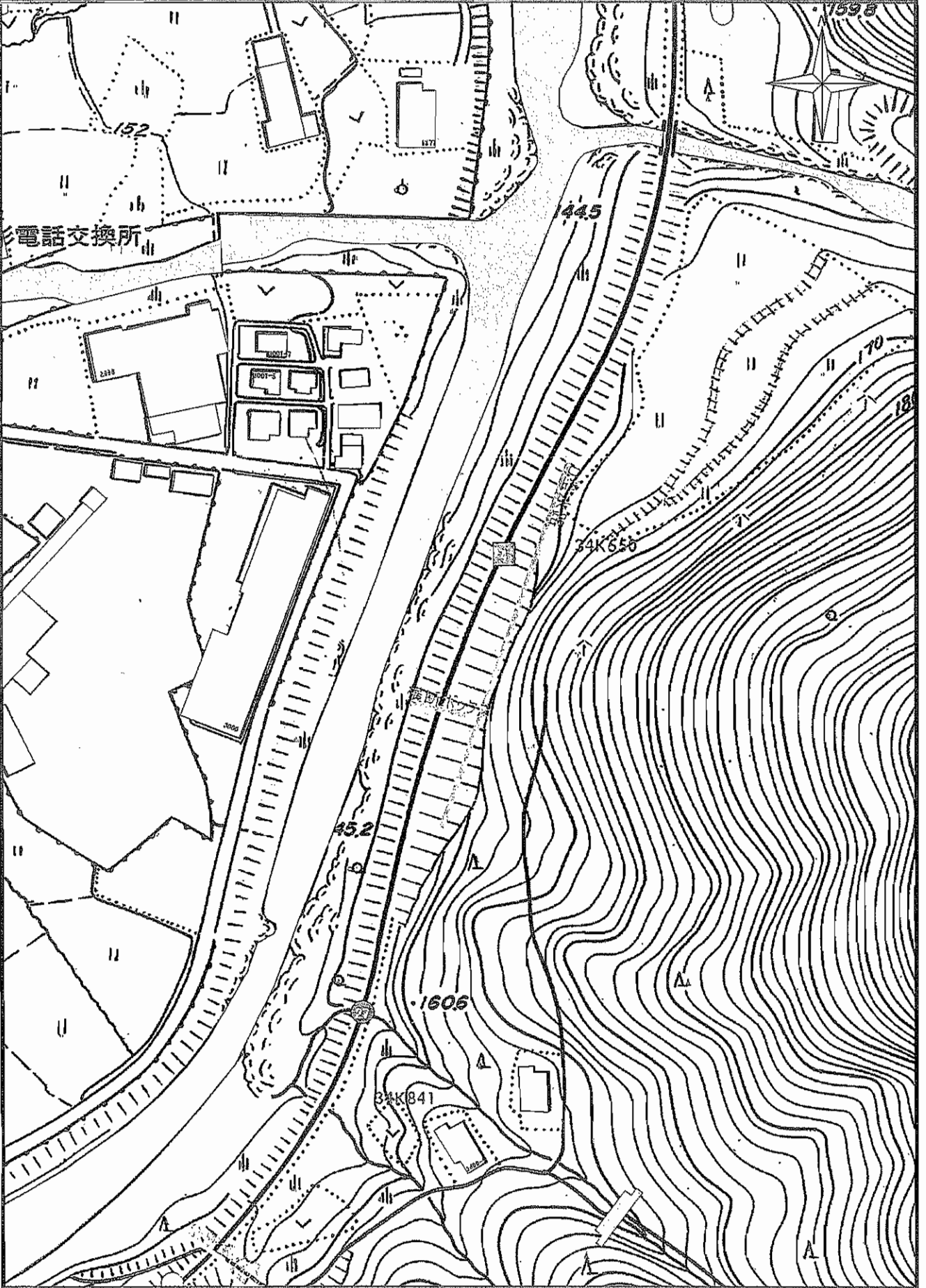


流入水が貯留される凹地



終点側線路脇水路

170


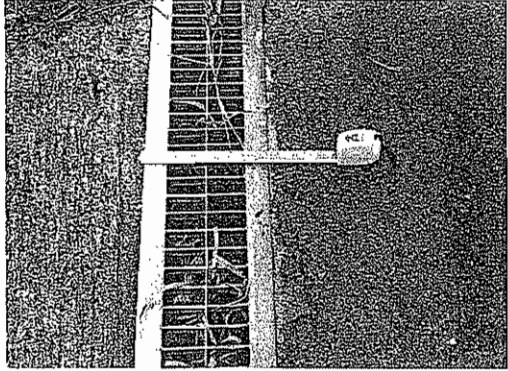


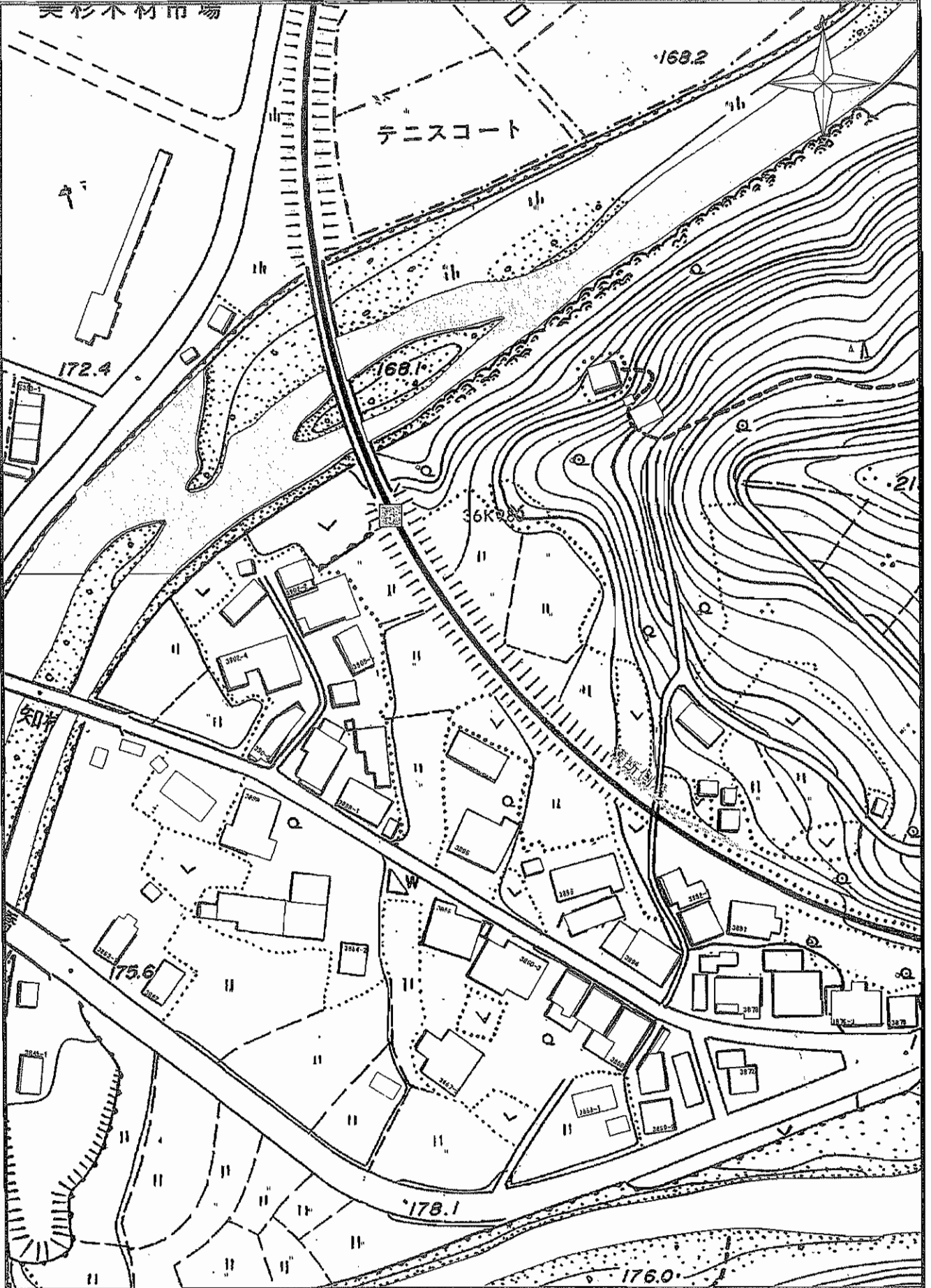
55

1

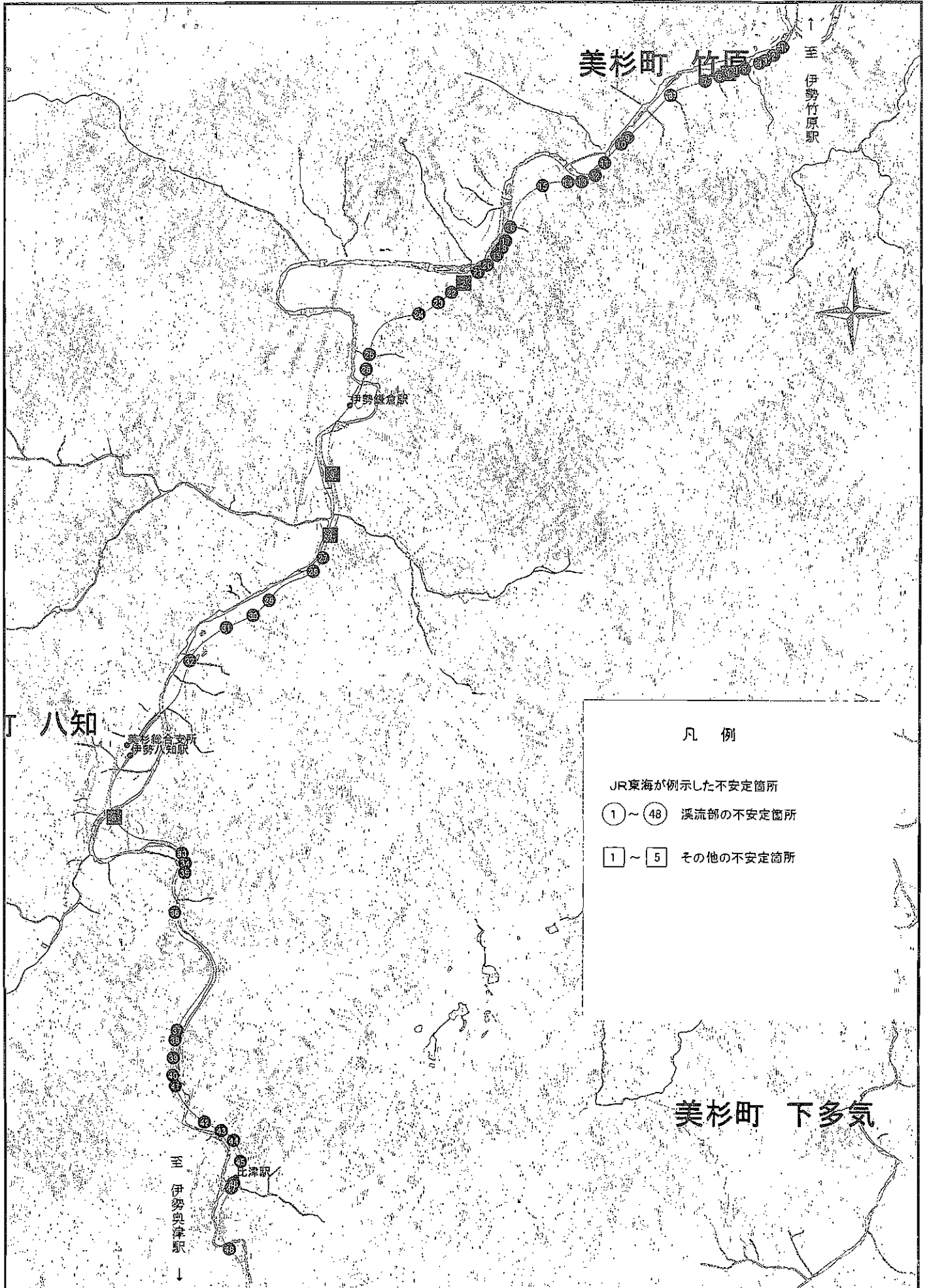
JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
5	36k980m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（線路道床）
既設対策工他	道路側溝				
コメント	道路側溝が小さく、側溝よりあふれた表流水が線路に流入したために、盛土が流失している。 道路側溝の拡幅と線路横断水路の新設が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				大
写 真					
					
盛土の流失			踏切道路横断側溝		



名松線不安定箇所位置図



協 力：三重大学 大学院 生物資源学研究科 教授 酒井俊典
三重大学 生物資源学部 非常勤講師 相澤泰造